

創りたい未来がある

創っているのは、ちょっと先の未来です



2016年5月期 第2四半期決算説明資料  
モバイルクリエイイト株式会社

証券コード：3669 東証第一部／福証本則

2016年5月期 第2四半期決算概況	P.3
業績ハイライト	
2016年5月期 第2四半期実績	
営業利益の状況（実績比較）	
区分別売上高の推移	
四半期別業績の推移（売上高・営業利益）	
貸借対照表	
キャッシュフロー計算書	
2016年5月期計画と経営の展望	P.11
2016年通期計画	
成長の軌跡と方向	
今後の取り組み	
参考資料	P.20

# 2016年5月期 第2四半期決算概況

# 業績ハイライト

## 2016年5月期 第2四半期決算総括

売上高 **2,232百万円** (前年同期比  $\Delta$ 16.1%)

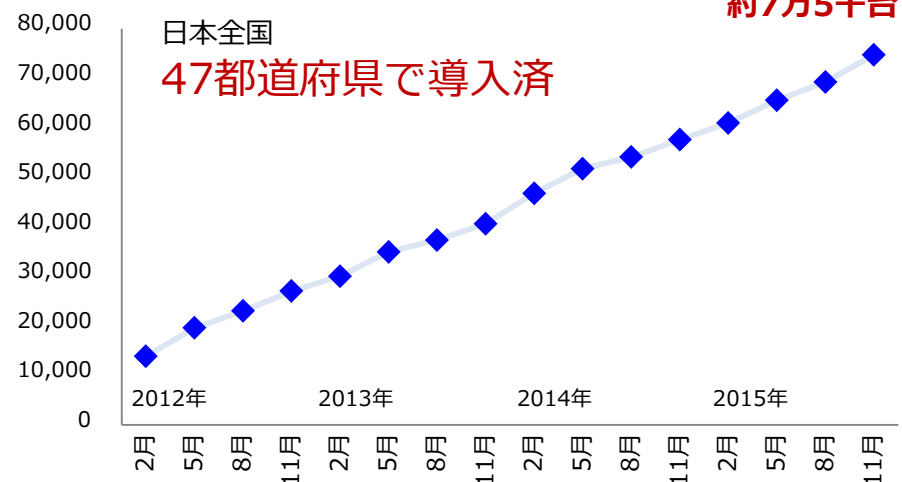
営業利益 **195百万円** (前年同期比  $\Delta$ 57.9%)

親会社株主に帰属する  
四半期純利益 **90百万円** (前年同期比 $\Delta$ 67.9%)

### POINT

- ✓ 期首計画に対して売上高は未達、営業利益は達成
  - ・ 導入案件のズレ込みにより売上高未達
  - ・ 期首想定ほどの価格競争が上半期には起きずに営業利益は達成
- ✓ タクシー配車システムのシェア拡大に向けた営業を展開
- ✓ 新型ハンディ機は2Qより本格納入開始
- ✓ 当2Q単期の経常利益は、四半期別業績としては過去最高
- ✓ 米国現地法人を設立し、営業を開始

### 契約台数 (台)

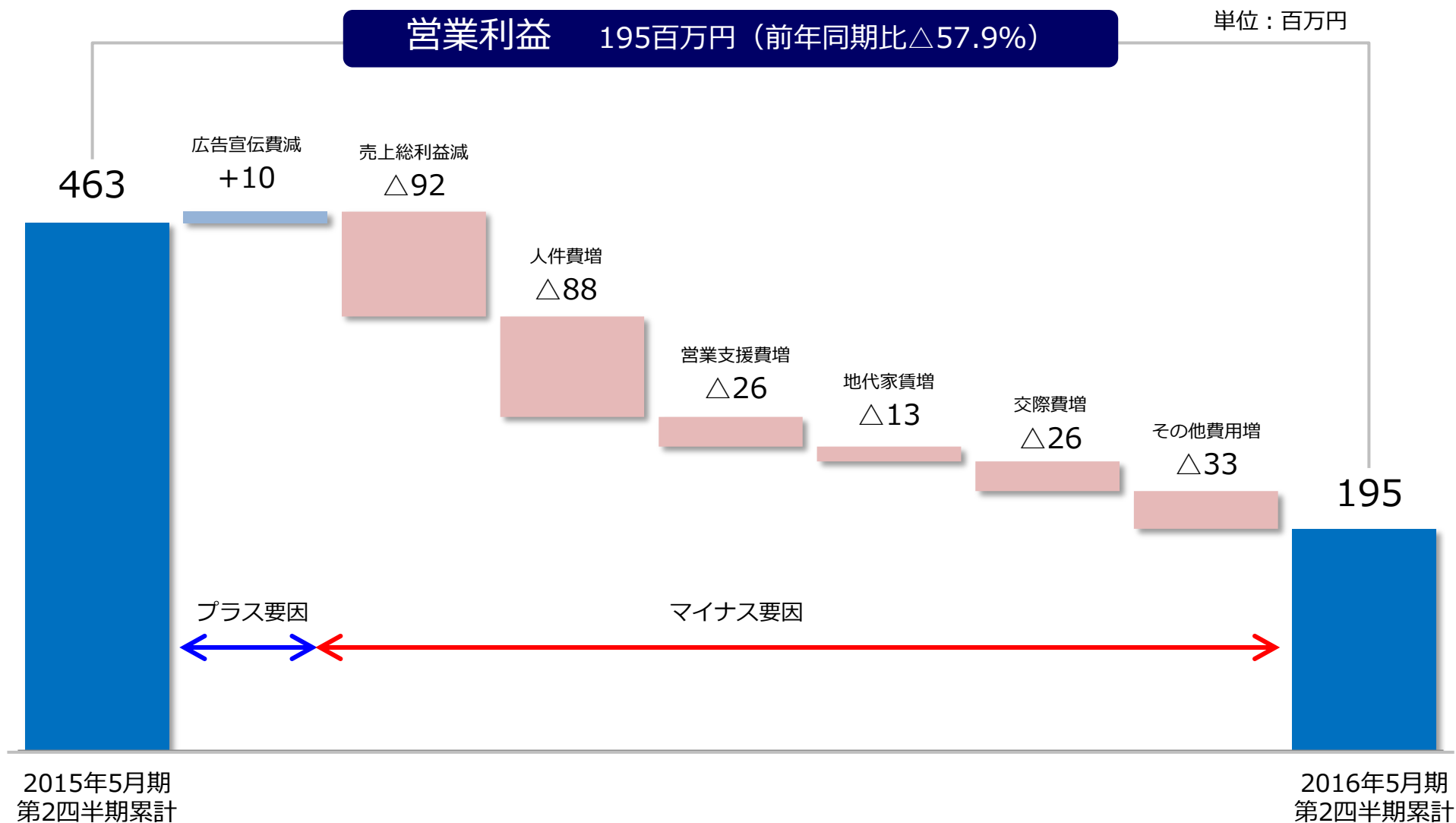


# 2016年5月期 第2四半期実績

単位：百万円／下段：構成比

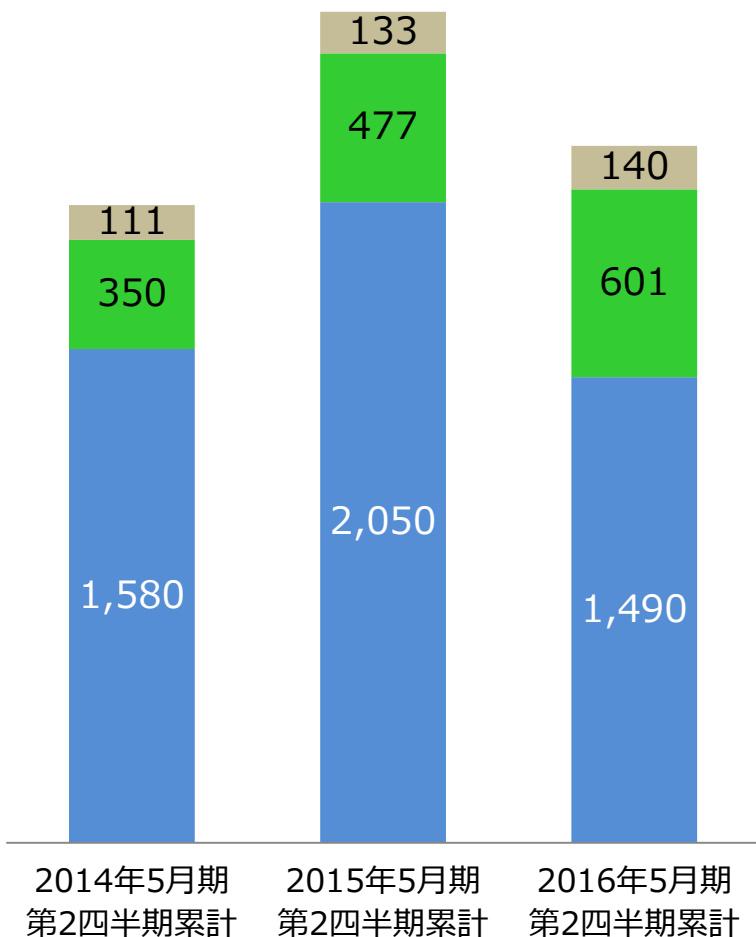
	2015年5月期 第2四半期累計	2016年5月期第2四半期累計			
		実績	前年同期比	期初計画	計画比
売上高	2,661 (100.0%)	2,232 (100.0%)	△16.1%	2,646 (100.0%)	△15.6%
売上総利益	864 (32.5%)	772 (34.6%)	△10.7%	796 (30.1%)	△3.0%
営業利益	463 (17.4%)	195 (8.7%)	△57.9%	191 (7.2%)	+2.1%
経常利益	459 (17.3%)	177 (7.9%)	△61.4%	185 (7.0%)	△4.1%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	283 (10.6%)	90 (4.1%)	△67.9%	112 (4.2%)	△18.8%

# 営業利益の状況（実績比較）



# 区分別売上高の推移

## 区分別売上高の推移 (単位:百万円)



## フロービジネス

■ アプライアンス 1,490百万円 (前年同期比△27.3%)

- ・ 導入案件のズレ込みにより売上高は期首計画に対して未達
- ・ 前期から大型案件（沖縄IC）が剥落したものの、2Q単期としては過去最高の売上高を計上
- ・ タクシー配車システムのシェア拡大に向けた営業を展開
- ・ 新型ハンディ機は2Qより本格納入開始

## ストックビジネス

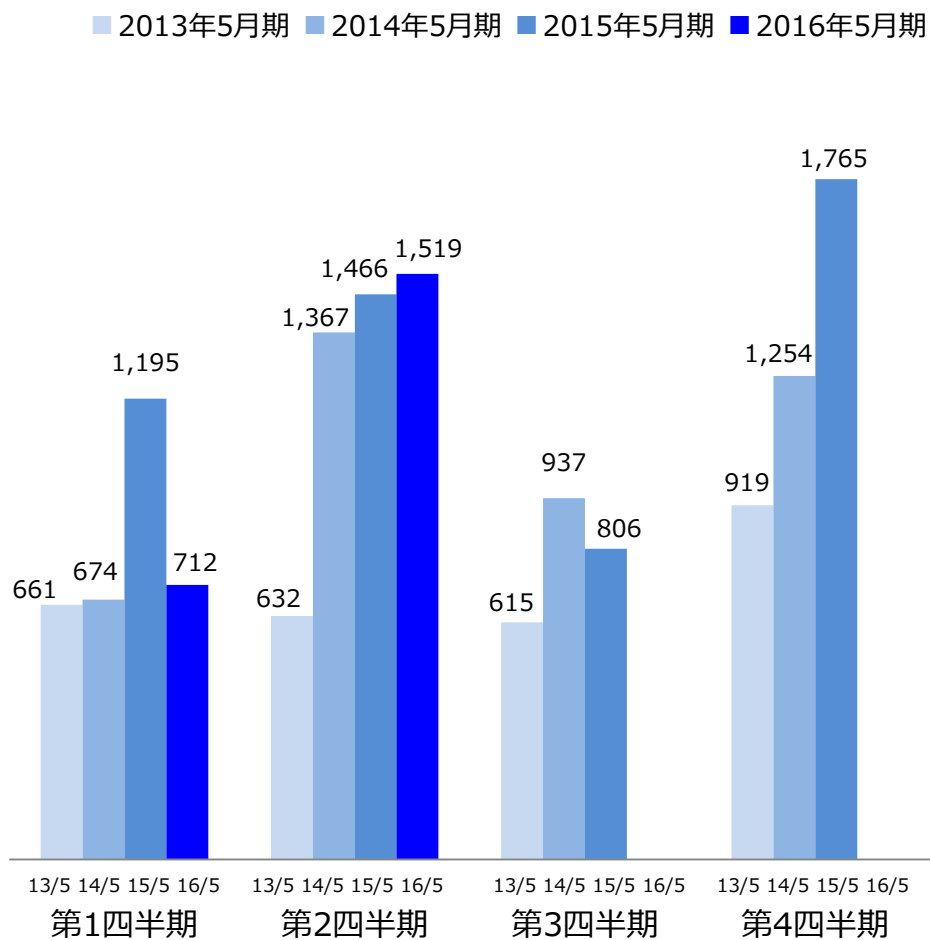
■ モバイルネットワーク 601百万円 (前年同期比+25.9%)

■ カスタマサービス 140百万円 (前年同期比+5.5%)

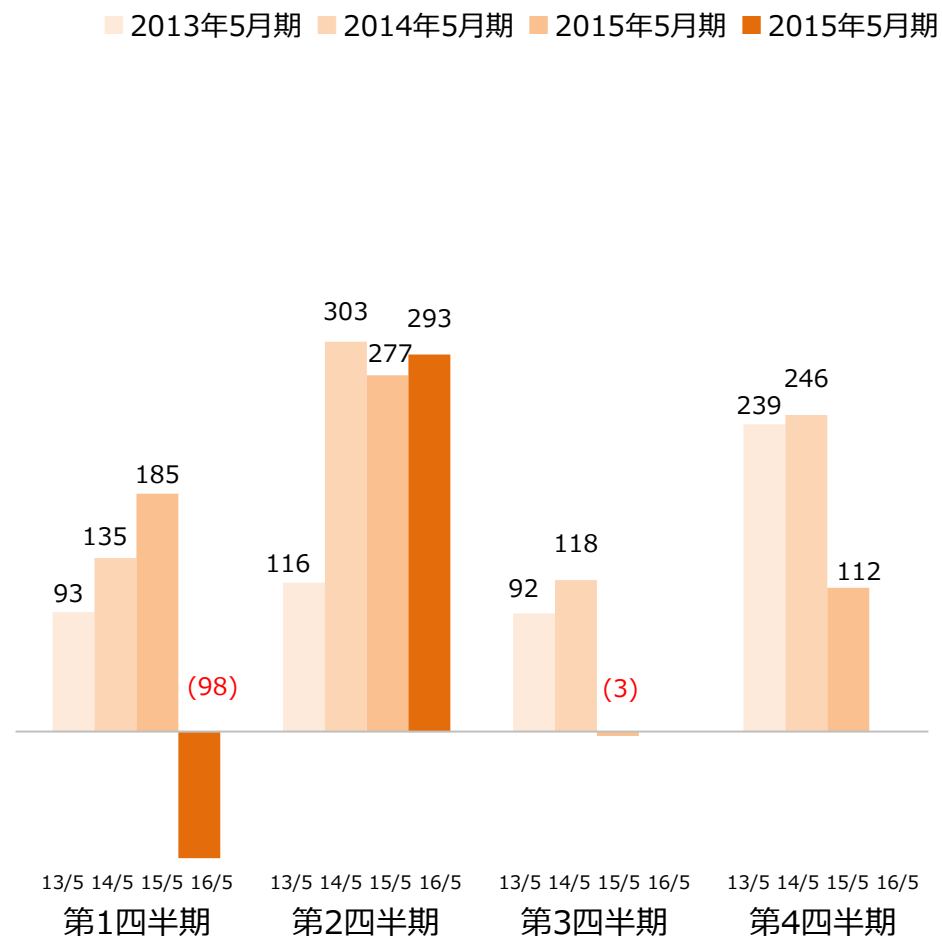
契約台数 約7万5千台

# 四半期別業績の推移（売上高・営業利益）

## 四半期別売上高の推移（百万円）



## 四半期別営業利益の推移（百万円）





# 貸借対照表

単位：百万円／下段は構成比

	2015年5月期末	2016年5月期 第2四半期末		主な増減要因
			増減額	
流動資産	3,835 (54.2%)	3,397 (51.5%)	△438	受取手形及び売掛金 △577 たな卸資産 +167
固定資産	3,245 (45.8%)	3,204 (48.5%)	△41	無形固定資産 △62
資産合計	7,081 (100.0%)	6,601 (100.0%)	△479	
流動負債	2,272 (32.1%)	1,861 (28.2%)	△410	買掛金 △367 短期借入金 △100
固定負債	365 (5.2%)	317 (4.8%)	△47	社債 △119 長期借入金 +85
負債合計	2,637 (37.2%)	2,179 (33.0%)	△457	
純資産	4,443 (62.8%)	4,421 (67.0%)	△22	利益剰余金 △24 (うち配当金支払115)
負債・純資産合計	7,081 (100.0%)	6,601 (100.0%)	△479	

# キャッシュフロー計算書

単位：百万円

	2015年5月期 第2四半期累計期間	2016年5月期 第2四半期累計期間	主な要因
営業キャッシュフロー	314	396	税金等調整前四半期純利益 + 177 減価償却費 + 170 売上債権の減少 + 577 仕入債務の減少 △367 たな卸資産の増加 △167
投資キャッシュフロー	△280	△157	有形固定資産の取得 △71 無形固定資産の取得 △66
フリー・キャッシュフロー	34	239	
財務活動によるキャッシュフロー	△161	△264	社債の償還による支出 △119 配当金の支払額 △115 短期借入金の減少 △100 長期借入れによる収入 + 100
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△3	
現金及び現金同等物の増減額	△127	△24	
現金及び現金同等物の期首残高	2,178	899	
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,050	874	

# 2016年5月期計画と経営の展望

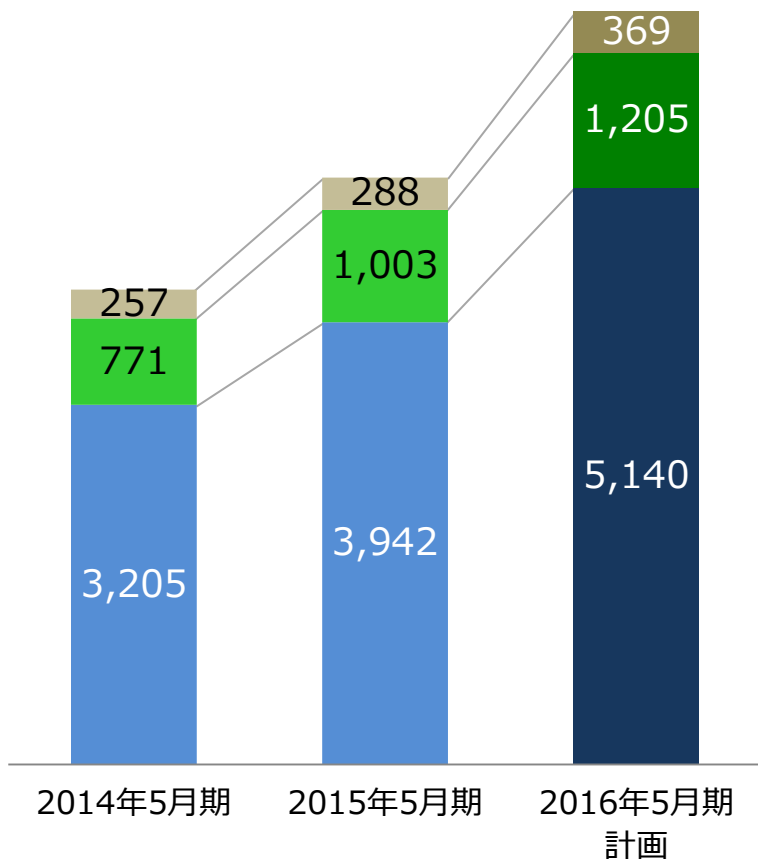
# 2016年5月期 通期計画

単位：百万円／下段は構成比

	2015年5月期実績		2016年5月期			
	第2四半期累計	通期	第2四半期累計実績		通期計画	
				前年同期比		前年同期比
売上高	2,661 (100.0%)	5,234 (100.0%)	2,232 (100.0%)	△16.1%	6,714 (100.0%)	+28.3%
売上総利益	864 (32.5%)	1,450 (27.7%)	772 (34.6%)	△10.7%	2,065 (30.8%)	+42.3%
営業利益	463 (17.4%)	572 (10.9%)	195 (8.7%)	△57.9%	825 (12.3%)	+44.2%
経常利益	459 (17.3%)	1,328 (25.4%)	177 (7.9%)	△61.4%	813 (12.1%)	△38.8%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	283 (10.6%)	1,112 (21.3%)	90 (4.1%)	△67.9%	491 (7.3%)	△55.9%
配当金	一円	5円	一円		5円	

# 2016年5月期 通期計画（区分別売上高の推移）

区分別売上高の推移（単位:百万円）



## フロービジネス

- アプライアンス 5,140百万円（前年同期比+30.4%）
  - ・ 業務用IP無線システムの新型ハンディ機販売拡大（消防防災市場等、新規顧客層の開拓）
  - ・ 2016年5月タクシーアナログ無線廃止の買替需要獲得（タクシー向けに決済システム、スマートフォンアプリの機能強化）
  - ・ バスロケーションシステム拡販（複数事業者共通サービス導入事例を展開）
  - ・ 沖縄本島IC乗車券システム「OKICA」の拡張計画にて受注獲得を目指す
  - ・ グループ会社と連携して事業領域を拡大

## ストックビジネス

### ストックビジネスで売上高15億円突破を計画

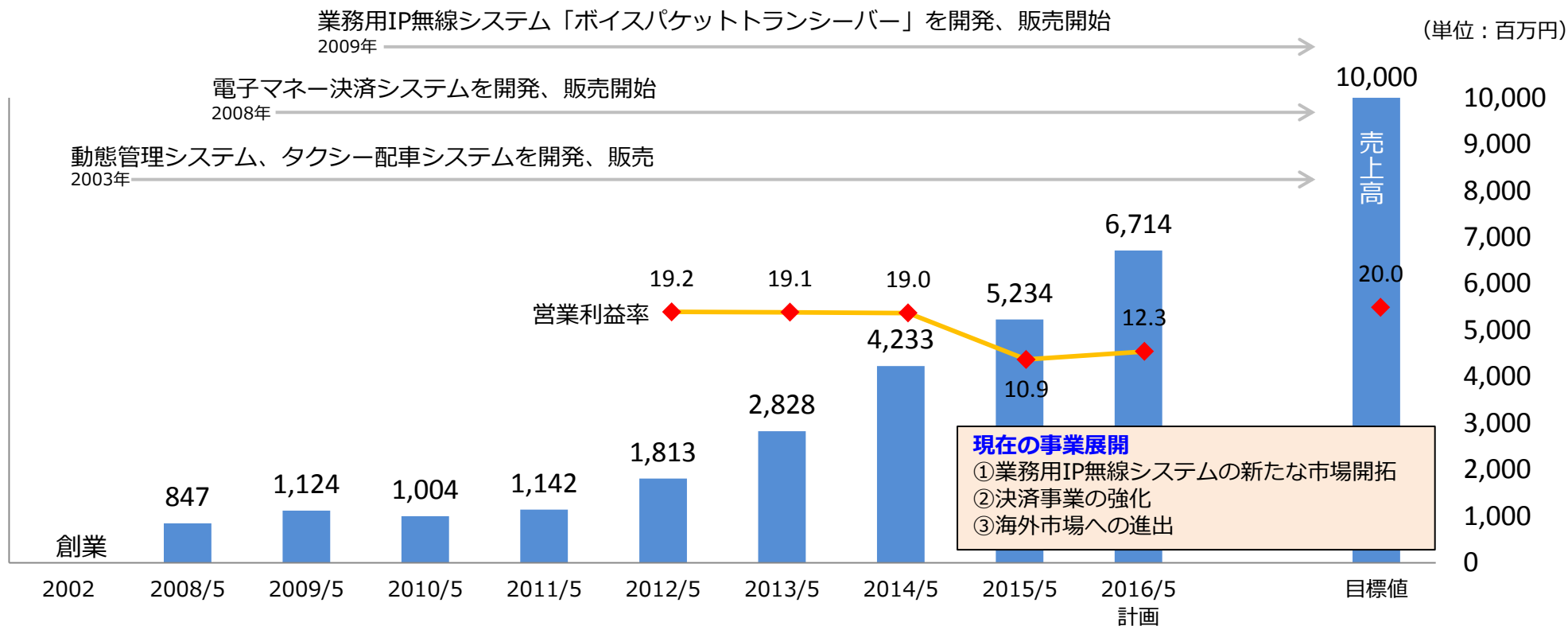
- モバイルネットワーク 1,205百万円（前年同期比+20.1%）
- カスタマサービス 369百万円（前年同期比+27.8%）

# 成長の軌跡と方向性

移動体通信事業者として創業

市場開拓を進めた **成長期**

異業種連携、海外進出を進め、 **拡大期へ**



2002年 創業

2009年8月 MVMO 開始

2012年12月 東証マザーズ・福証Q-Boardへ上場

2013年12月 東証1部・福証本則へ市場変更

2015年1月 石井工作研究所を持分法適用関連会社化

## 業務用 IP 無線システムの新たな市場開拓（ボイスパケットトランシーバー）

### 2009年～

車載機のボイスパケットトランシーバーを発売



タクシー

トラック

バス

交通事業向け

### 現在

従来の車載機に加えて新型ハンディ機を投入、用途拡大へ

※ NTTドコモ向け「ドコモビジネストランシーバー」としても提供



タクシー

トラック

バス

交通事業向け

NEW



防塵・防水  
対応

新規顧客層を開拓

防災無線

企業BCP

土木・建築、屋外作業

その他の車両

## 業務用IP無線の用途拡大（事例）

業務用IP無線は新たな分野での活用が始まる

- ◆ 愛媛県の伊方原発の事故を想定した大分県の訓練に当社のIP無線が使用されました
- ◆ **避難民受け入れを想定した訓練の連絡手段としてボイスパケットトランシーバーを配備**



伊方原発防災訓練の様子

- ◆ **大手ロードサービス会社に業務用IP無線システム“ボイスパケットトランシーバー”を導入**
- ◆ **導入台数約1,300台**
- ◆ 作業車両に設置し、ロードサービスを始めとする連絡体制に使用



※イラストはイメージ

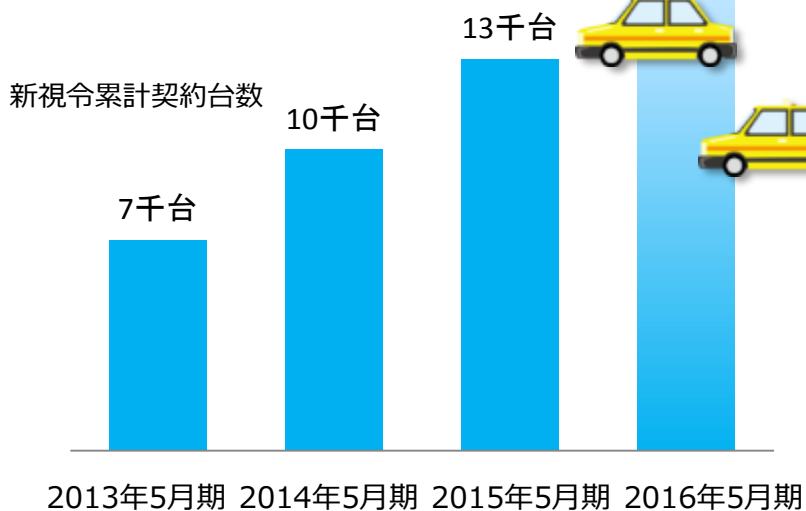


## タクシー配車システムのシェア拡大

### 2016年5月末アナログ無線廃止に向けた対応と今後の取り組み

純増1万台超  
(目標)

2016/5アナログ廃止  
による買替需要



#### 新視令(配車システム)

- ◆ 契約台数純増1万台超を目標
- ◆ 配車システムのクラウド化で供給能力拡大

#### WEB・アプリ配車

- ◆ スマートフォンアプリの機能強化
- ◆ 子会社トランとの協業により付加価値サービスを強化



#### 決済システム

- ◆ 様々な決済手段に対応したマルチ決済端末
- ◆ 各種電子マネー・クレジット5大ブランドに加えて銀聯カード追加、WeChat対応予定

## 米国現地法人を設立し、営業を開始

シリコンバレーに現地法人を設立。米国市場でのIT通信企業としての飛躍を目指す

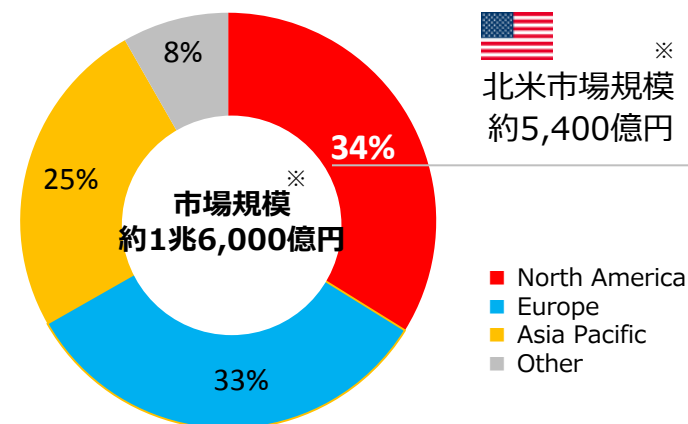
### 目標とする企業像

- ・米国発信の新たな製品、技術、サービスを開発する
- ・米国市場でIT通信企業としての地位と基礎を確立する

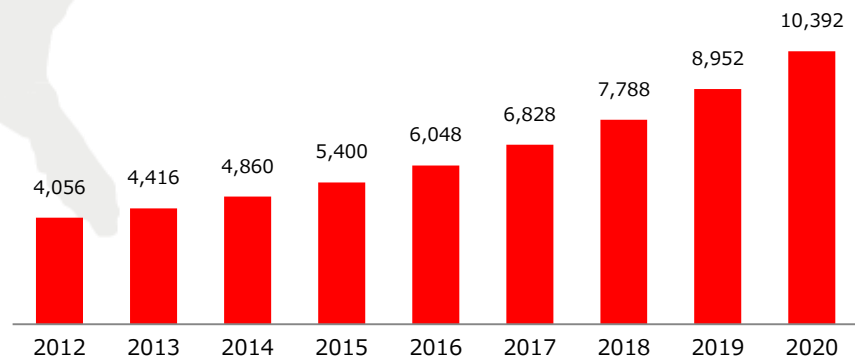
### 会社概要

法人名	Mobile Create USA, Inc.
出資金	US\$100,000 (約12百万円)
所在地	#658, 2033 Gateway Place, San Jose, California, U.S.A 95110
事業内容	当社製品の製造販売及び新規事業創出
設立	平成27年10月
出資比率	モバイルクリエイイト株式会社100%
決算期	12月末

世界の無線の市場 (2015年)

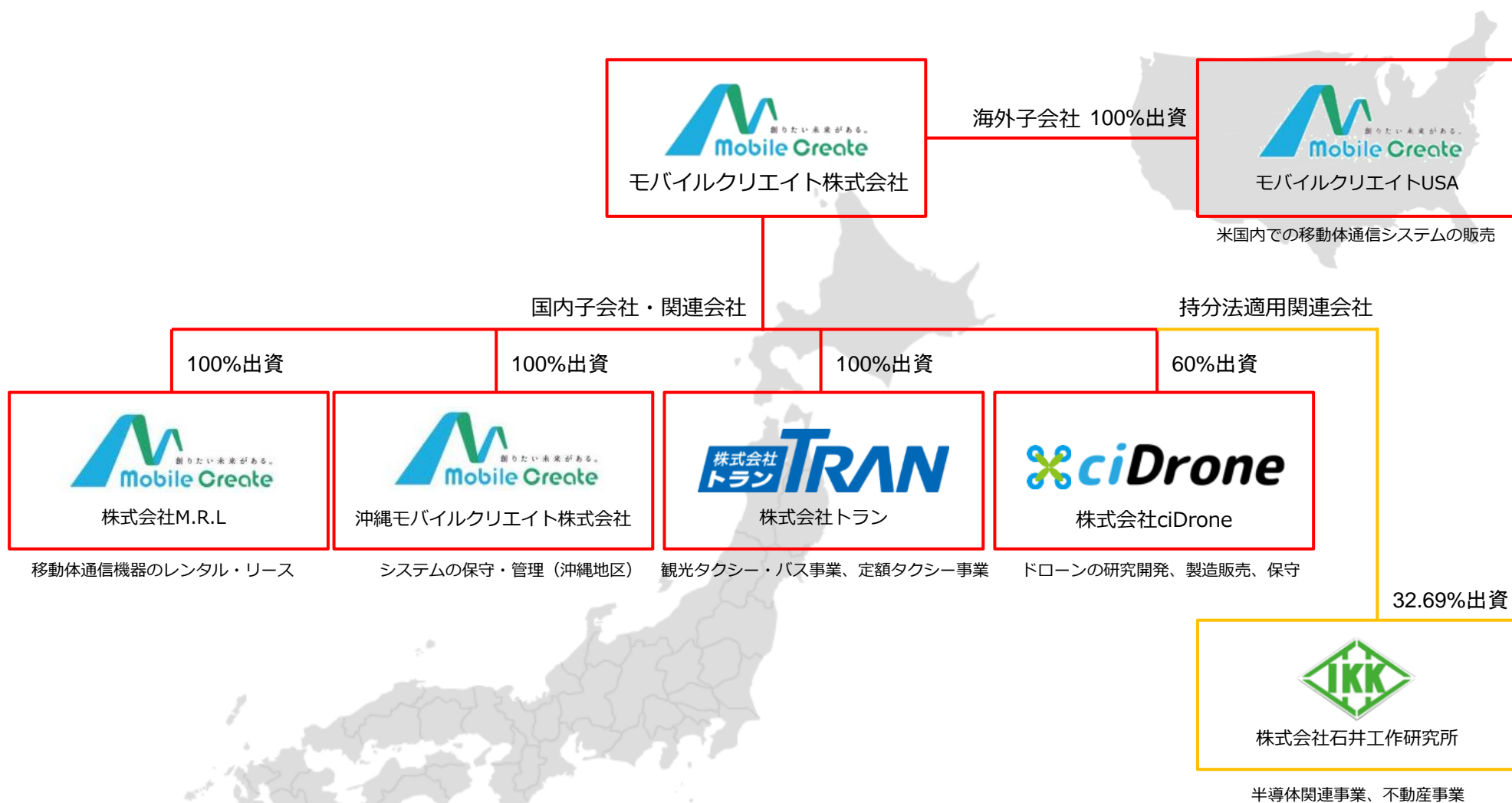


北米の無線市場規模 (予測) 単位: 億円



※ KOL Opinions ,Company Annual Reports ,Expert Interviews ,Investing Publications ,Press Releases and TMR Analysisより当社推定 / 1ドル=120円換算

# グループ相関図



# 参考資料

# 売上区分別実績

## 四半期累計 売上高

単位：百万円／下段は構成比

	2015年5月期				2016年5月期			
	1Q	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q	2Q累計	3Q累計	4Q累計
	累計売上高	1,195 (100%)	2,661 (100%)	3,468 (100%)	5,234 (100%)	712 (100%)	2,232 (100%)	
アプライアンス	894 (74.8%)	2,050 (77.0%)	2,532 (73.0%)	3,942 (75.3%)	347 (48.8%)	1,490 (66.8%)		
モバイルネットワーク	235 (19.7%)	477 (18.0%)	732 (21.1%)	1,003 (19.2%)	285 (40.2%)	601 (26.9%)		
カスタマサービス	65 (5.5%)	133 (5.0%)	203 (5.9%)	288 (5.5%)	78 (11.0%)	140 (6.3%)		

## 四半期単期 売上高

単位：百万円／下段は構成比

	2015年5月期				2016年5月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
単期売上高	1,195 (100%)	1,466 (100%)	806 (100%)	1,765 (100%)	712 (100%)	1,519 (100%)		
アプライアンス	894 (74.8%)	1,156 (78.9%)	481 (59.7%)	1,410 (79.9%)	347 (48.8%)	1,142 (75.2%)		
モバイルネットワーク	235 (19.7%)	242 (16.5%)	254 (31.6%)	270 (15.3%)	285 (40.2%)	315 (20.8%)		
カスタマサービス	65 (5.5%)	67 (4.6%)	70 (8.7%)	85 (4.8%)	78 (11.0%)	61 (4.1%)		

# 損益計算書

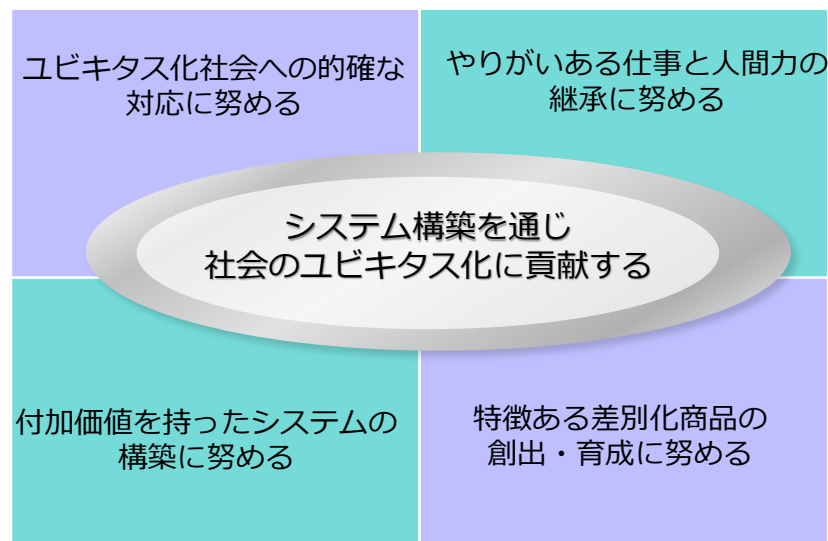
単位：百万円／下段：構成比

	2015年5月期				2016年5月期							
	1Q	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q		2Q累計		3Q累計		4Q累計	
						前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
売上高	1,195 (100.0%)	2,661 (100.0%)	3,468 (100.0%)	5,234 (100.0%)	712 (100.0%)	△40.4%	2,232 (100.0%)	△16.1%				
売上総利益	393 (32.9%)	864 (32.5%)	1,090 (31.4%)	1,450 (27.7%)	181 (25.4%)	△54.0%	772 (34.6%)	△10.7%				
営業利益	185 (15.5%)	463 (17.4%)	459 (13.3%)	572 (10.9%)	△98 (△13.9%)	—	195 (8.7%)	△57.9%				
経常利益	185 (15.5%)	459 (17.3%)	1,281 (37.0%)	1,328 (25.4%)	△137 (△19.3%)	—	177 (7.9%)	△61.4%				
親会社株主に 帰属する当期 純利益	112 (9.4%)	283 (10.6%)	1,100 (31.7%)	1,112 (21.3%)	△115 (△16.2%)	—	90 (4.1%)	△67.9%				

# 会社概要

社名	モバイルクリエイイト株式会社
本社	大分県大分市賀来北二丁目20番8号
代表者	代表取締役社長 村井 雄司
設立	2002年12月27日
事業内容	移動体通信事業
資本金	10億4百万円（2015年11月30日現在）
従業員数	175名（2015年11月30日現在）

創っているのは、  
ちょっと先の未来です。



# 主な商品の概要

## 業務用IP無線システム 「ボイスパケットトランシーバー」

携帯電話通信網（NTTドコモ）を利用（日本全国利用可能。人口カバー率100%）

総務省の許認可不要、基地局不要、免許不要なので、すぐに利用可能

既存の業務用無線と同様に即時通話、一斉同報通信が可能

他の業務用無線よりも初期コスト、ランニングコストが安い。「GPS」を標準装備

### 「ボイスパケットトランシーバー」サービス概念図







## バス運行管理システム「**バスロケーションシステム**」

バス会社は、システムオンライン化による業務効率化を実現  
利用者は、PCやモバイルから運行状況の確認や経路・乗り継ぎ検索が可能  
バスが停留所に接近すると、登録ユーザにはメールで、停留所には接近情報が表示

導入事例

### 京阪バス

#### 発車案内モニタ

駅等への本格導入

コンビニやスマホへの展開も検討



#### バス車内の液晶表示に 電車の乗換案内情報

バスの到着時刻を予測、  
乗換可能な電車時刻表をご案内



導入事例

### 沖縄本島バス事業者 4 社

#### インターネットトップ画面



#### 現在位置をリアルタイム表示



バス事業者4社の垣根を越えた共同ポータルサイト

琉球バス交通

那覇バス

沖縄バス

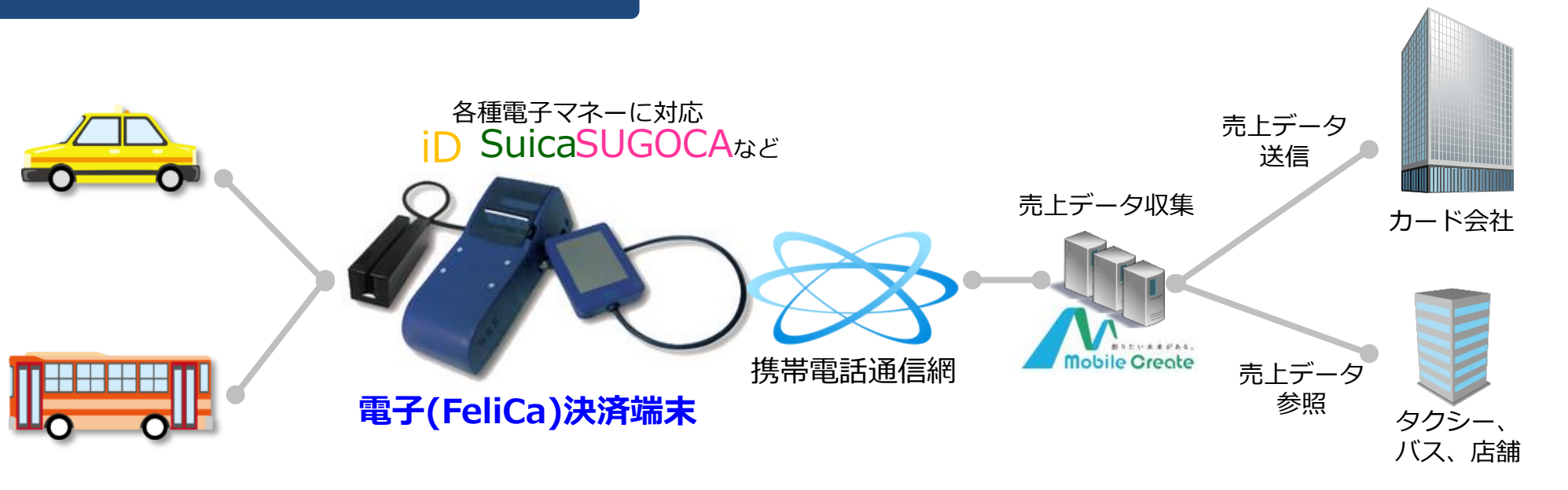
東陽バス



## 電子決済システム

各種電子マネー、クレジットカードでスピーディな決済  
自社開発(製造委託)による安価なFeliCa決済端末を使用  
携帯電話通信網 (NTTドコモ) を利用 (日本全国利用可能。人口カバー率100%)  
事業者は車両ごとの売り上げをWEBで把握

### 電子決済システムサービス概念図





【 連絡先 】 モバイルクリエイイト株式会社 管理部 経営企画課  
【 住所 】 大分県大分市賀来北二丁目20番8号  
【 T E L 】 097 - 576 - 8181  
【 E-mail 】 info@mcinc.jp

本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報(forward-looking statements)」を含みます。これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。

※ 「FeliCa」は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。

※ 「FeliCa」はソニー(株)、「iD」は(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ、「Suica」は東日本旅客鉄道(株)、「SUGOCA」は九州旅客鉄道(株)、「OKICA」は沖縄ICカード(株)、「銀聯」はCHINA UNIONPAY CO., Ltd.、「WeChat」はTencent Holdings Limited,の登録商標です。